

カリキュラム・マネジメントによる道徳教育を展開したい

2 道徳の指導計画作成 ～「道徳教育の全体計画」と「道徳科の年間指導計画」～	
(1) 校長の方針を明確に示そう！	24
(2) 道徳教育推進教師を中心とした協力体制を整備しよう！	25
① 協力体制の充実	25
② 道徳教育推進教師の役割	27
(3) 道徳教育の全体計画を作成しよう！	34
① 4つの視点と内容項目ごとに、各教科等における 道徳教育に関わる内容及び時期を示した例	35
② 道徳科と各教科等それぞれの道徳教育に 関わる内容及び時期を示した例	36
③ 内容項目ごと、各教科等との関連を 発達の段階を捉えながら示した例	37
(4) 道徳科の年間指導計画を作成しよう！	38
(5) 各教科等との関連を図った実践例	39



道徳科の授業において子供達が、
自分事として考えるためには、
日常生活での種まきが大切です！



道徳教育推進課マスコットキャラクター
読書大好き！ すびんちゃん です。

2 道徳の指導計画作成 ～「道徳教育の全体計画」と「道徳科の年間指導計画」～

道徳の指導計画については、道徳教育の全体計画作成事項が学習指導要領解説総則編において、道徳科の年間指導計画作成事項が学習指導要領解説「特別の教科 道徳」編において、それぞれ示されています。したがって、各学校においては、校長が道徳教育の方針を明確にし、指導力を発揮して、全教員が協力して道徳教育を展開するため、道徳教育の推進を主に担当する教師（以下「道徳教育推進教師」という。）を中心として、「道徳教育の全体計画」とそれに基づく「道徳科の年間指導計画」を作成する必要があります。

(1) 校長の方針を明確に示そう！

道徳教育は、学校の教育活動全体で取り組むものであり、**校長は学校の道徳教育の基本的な方針を全教員に明確に示す**ことが求められています。そのためには、校長は道徳教育の改善・充実の方向を視野におき、

- ① 児童生徒の道徳性にかかわる実態、
- ② 学校の道徳教育推進上の課題、
- ③ 社会的な要請や家庭や地域の期待などを踏まえ、



「児童生徒の道徳意識調査」、
「アンケート調査」、「教職員の意見」、
「社会背景」等を参考にして、
実態把握をしましょう。

学校の教育目標とのかかわりで、道徳教育の基本的な方針を明示する必要があります。

<道徳教育の重点目標の改善例（A小学校の例）>

改善前

人間尊重の精神を生かし、道徳的心情と道徳的判断力を高め、道徳性を養う。



漠然とした目標で、学校として何を重点に道徳教育を行うのかが分かりにくい。そのため、各学年の道徳の重点内容項目もばらばらで、学校として意識統一した指導ができていない・・・
具体性のある目標に修正しよう。

教育基本法に示されている公共の精神等、日本人がもっていた「規範意識」を重視したい。

子供たちには、相手のことを思いやり、しっかりとした規範意識をもった人間に育ってほしい。



教育委員会が目指す「思いやりと規範意識のある人間」を尊重しよう。

本校の子供たちは、明るく元気でやる気もあるが、学校の約束や社会のきまりを意識して生活することが十分でない。

ポイントは、「思いやり」と「規範意識」！

Bの視点、特に「親切、思いやり」
Cの視点、特に「規則の尊重」

改善後

人間尊重の精神を生かし、思いやりの心をもって、規範を尊重しようとする児童を育成する。

ここがポイント！

- 道徳の内容とのかかわりを明らかにして、道徳教育の重点目標を設定します。道徳の内容項目も参照して、分かりやすい目標にすると、学校の重点内容項目とのつながりが出てきます。

道徳教育推進教師と各部のリーダーと一緒に
道徳教育が推進できるような推進体制にしましょう。



(2) 道徳教育推進教師を中心とした協力体制を整備しよう！

① 協力体制の充実

学校が組織体として一体となって道徳教育を進めるためには、校長の明確な方針と道徳教育推進教師等の役割の明確化とともに、全教師が指導力を発揮し、協力して道徳教育を展開できる体制を整えるようにしましょう。

【道徳推進教師を中心とした指導体制の充実】

道徳科の指導を計画的に推進し、また、それぞれの授業を魅力的なものとして効果を上げるためには、校長の方針の下に学校の全教師が協力しながら取組を進めていくことが大切である。校長の方針を明確にし、道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実を図るとともに、道徳科の授業への校長や教頭などの参加、他の教師との協力的指導、保護者や地域の人々の参加や協力などが得られるように工夫することが大切である。

<協力し合える指導体制づくり（B小学校の例）>

主な内容項目	主に協力を求める教職員, 家庭, 地域の方々
節度, 節制	養護教諭・栄養教諭・栄養士・家庭等
感謝	養護教諭・栄養教諭・栄養士・事務職員 用務員・家庭・地域人材 等
勤労, 公共の精神	用務員・地域人材 等
家族愛, 家庭生活の充実	家庭 等
よりよい学校生活, 集団生活の充実	校長・教頭・事務職員 等
伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	家庭・地域人材 等
国際理解	ALT・JET・地域人材 等

内容項目や教材の内容を吟味
する中で、特に効果的と考えられ
る場合は、道徳科における実際の
指導において他の教師や家庭、地
域の方々などの協力を得ること
が考えられます。



例えば

養護教諭に入ってもらおうと…

G・Tからの手紙の紹介

G・Tからビデオレター

校長先生に入ってもらおうと…

家族からの手紙

心臓の鼓動を聞きあって

校内で協力し合える指導体制づくりの実践事例

道徳科の授業は、学級担任の教師が行うことを原則としますが、校長や教頭などの参加、他の教師との協力的な指導などを工夫し、道徳教育推進教師を中心とした指導体制を充実することで、より自分のこととして考えるとともに、道徳的価値についての理解を一層深め、生活に生かしていこうとする意欲につながります。

全校児童生徒の健康管理に目を配る養護教諭に、健康管理の側面から、「生活習慣」(節度、節制)、「命の大切さ」(生命の尊さ)などから話をしてもらいます。



養護教諭に聴診器で心臓の音を聞かせてもらいます。(生命の尊さ)

栄養教諭・学校栄養職員に、「食育」(節度、節制・生命の尊さ)や「和食」(伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する心)などを給食献立と関連させて話をしてもらいます。



校長から校章の意味を聞き、自分達の学校への思いを深めます。



校長が、画家「奥田元宋」の地域教材の授業に(T・Tとして)参加し、卒業する生徒に「ふるさと」(伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する心)を考えさせ、ふるさとへの思いを語ってもらいます。

ここがポイント

- 校内での協力体制を整えるためには、先生同士の連携がとても大切です。一人一人の先生の専門性を大切にし、日頃からコミュニケーションをとっておきましょう。
- 担任は、協力していただく教職員や地域などのGTとの打ち合わせの際、授業のねらいや指導の意図を明確に示しておき、共通理解・共通実践となるようにしましょう。
- 年間指導計画に協力してもらった授業を計画的に配置しましょう。また、年間指導計画に、実施日や協力者名などの記入欄を設けておき、時期や内容で有効であった授業を記録し、共有することで次年度につなげていきましょう。

② 道徳教育推進教師の役割

道徳教育推進教師が全体を掌握しながら、全教員の参画、分担、協力の下に道徳教育が円滑に推進され、充実していくように働き掛けていくことが望まれます。



【道徳教育推進教師の役割として考えられる事柄と具体的な行動例】※（ ）内は高等学校

	事 柄	具 体 的 な 行 動 例
ア	道徳教育の指導計画（全体計画）の作成に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の重点目標を全教員が共通認識できる機会をつくる。 ・見直しの視点を示す。（実態から、重点目標から等） ・指導記録を計画の見直しに生かせるように、指導記録を使った見直しの機会をつくる。
イ	全教育活動における道徳教育の推進、充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の重点内容項目を、機会（学校行事・体験活動等と関連して）を見つけては確認する。 ・年間 1 回以上、各教科、総合的な学習の時間等との関連、体験活動や地域とのつながり等を年間計画や別葉を基に見直す機会をつくる。
ウ	道徳科の充実と指導体制に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・校内授業研、道徳教育研修の研修計画へ位置付ける。→記録の蓄積 ・ティーム・ティーティング（T・T）授業を計画する。（ゲストティーチャーの活用も含め） ・複数学年、学級による合同授業を計画する。 ・ゲストティーチャー一覧表を作成し、共有化を図る。 ・全職員で関わるような仕組みを作る。※（所属校内部会の活用）
エ	道徳（道徳教育）用教材の整備・充実・活用に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・教材、掲示物、板書記録の保存と活用を行う。（保管場所の明示、提出数の明示、機能的に活用できるように） ・地域教材の開発に向けた計画、支援を行う。
オ	道徳教育の情報提供や情報交換に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・研修報告の機会を確保する。 ・校内で紹介したい資料を収集する。 ・近隣の学校で研究授業に参加し合う。 ・HPに「道徳教育」のページを設ける。
カ	道徳科（道徳教育）の授業公開など家庭や地域社会との連携に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開、懇談会を企画する。（保護者参加型授業も含めて） ・家庭、地域との連携方法を明確にする。 ・HPに「道徳教育」のページを設ける。 ・学校便り、学級便りに意図的に掲載するように働きかける。
キ	道徳教育の研修の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・校内授業研修、道徳教育研修の研修計画へ位置付ける。 ・模擬授業の実施を提案する。
ク	道徳教育における評価に関すること（道徳教育の全体計画の評価に関すること）	<ul style="list-style-type: none"> ・学校自己評価へ位置付ける。 ・子供の道徳性を見取りについて、共通理解を進める。（上段キと関連） ・記録の仕方を統一する。 ・保護者や外部の方の声を集める。

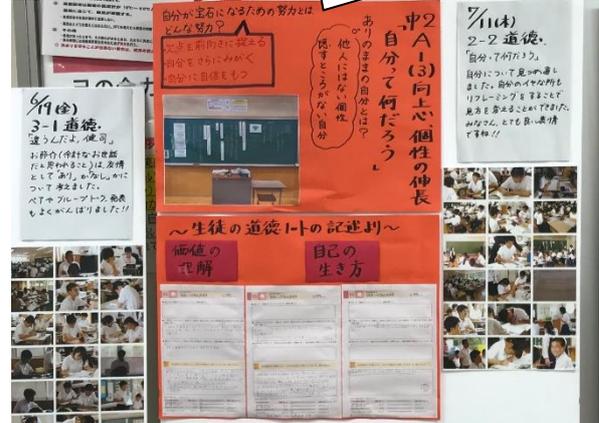
教具、掲示物等を整理し、教職員間で共有している例

○ 学びと生活をつなぐ工夫

■ 授業の振り返りの掲示

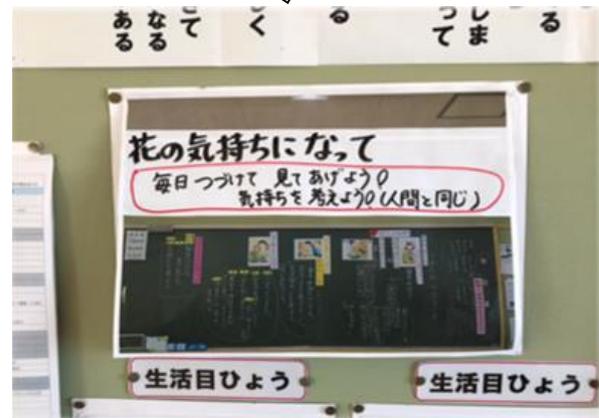
児童生徒の主な考え

中心発問、板書、
道徳ノートへの記述



内容項目ごとの
授業イラスト掲示

主題名、授業での学び



○ 取組の意図

- ・ 児童生徒が授業での学びを普段の生活の中でも振り返って生活に生かせるようにする。
- ・ 授業者が、これまでの児童生徒の学びや各内容項目等のつながりを踏まえた授業実践ができるよう、毎時間の授業の要点をまとめ、教室や掲示板への掲示を行う。

○ 実施するときのポイント

- ・ 情報過多にならないよう、ポイントを絞った簡潔な内容で掲示しましょう。
- ・ 児童生徒が関心をもつとともに、学びを想起できるきっかけとなるよう、文字だけでなく、児童生徒の考えやノートへの記述、イラストを載せるなど工夫をしましょう。
- ・ 教室や掲示板など、教員や児童生徒の目につきやすい場所へ掲示しましょう。

教具、掲示物等を整理し、教職員間で共有している例

○ 教材の準備、整理、保存の工夫

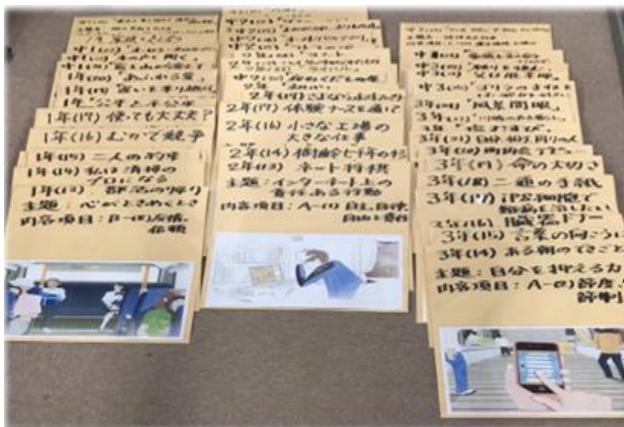
各教員がすぐに手に取れるよう、授業記録のファイルや教具をまとめ、職員室に保管している。



各学年、各学級で
授業記録ファイルを作成・保管



学習指導過程、成果と課題、
今後に向けて、板書等



中の教材が一目でわかるように、
袋の表に教材名、主題、内容項目を記載
し、挿し絵を貼り付けている

中には、ワークシート、挿絵、
発問短冊が入っている

○ 取組の意図

- ・学年に複数学級ある場合、先行事例をもとに、ブラッシュアップしながら授業改善を進めていくことができるようにする。
- ・来年度、授業実施する際の参考資料を蓄積・共有しておくことで、教職員同士が参考資料をもとに、発問構成、学習指導過程、指導方法等を検討することができ、教職員全体の授業力向上につなげる。

○ 実施する時のポイント

- ・いつでも誰でもすぐにデータ共有ができるよう、授業記録やワークシート、導入や終末で活用できる資料、関連動画、授業づくりの参考となるデータ等は、校内共有サーバーにデータ保存しておきましょう。

教材開発に向けた計画，支援の工夫の例

(例) 地域教材「せらまち音頭に込められた想い」開発の流れ

道徳教育推進教師の役割

① 生徒の発達段階や特性，地域の事情等を考慮し，教材化したい内容を検討する。

② 教材の活用方法を考える。
(内容項目，ねらい，指導学年など)

③ 教材を作成する。

④ 担任とともに具体的な指導計画を作成する。

⑤ 教材の使用許可の申請やゲストティーチャーとの連絡調整を行う。

授業の実施

※可能であれば担任とT・Tで授業を行う。

⑥ 作成した教材，指導記録等を保管し，次年度以降の年間指導計画に反映させる。

フラワーフェスティバルで踊った「せらまち音頭」の歌詞は郷土愛の学習に生かせそうだな。



いろいろな歌詞に込められた想いを考えさせるために，KJ法による活動を取り入れよう。

終末で「せらまち音頭」の作成に関わった方に当時のことを語ってもらおう。



来年度は実施時期をフラワーフェスティバルの近くに設定しよう。

【計画，支援の際のポイント】

- 教材を作成・選択する際は，児童生徒の興味を引くことにのみ留意するのではなく，「この教材で何を考えさせるのか」という授業のねらいや指導の意図を明確にすることが大切です。
- 普段から学校や地域の特色ある資源，人材，行事，ニュースなどを内容項目の視点から捉え，授業に活用できないかアンテナを張っておくことが大切です。

道徳科に用いられる教材を具備する際は，「児童生徒の発達の段階に即しているもの」，「児童生徒が深く考えることができるもの」，「特定の見方や考え方に偏った取扱いがなされていないもの」などの要件を満たすことが大切です！



校内で資料を共有・校外へ取組を発信するための工夫の例

(例)

共有し 活用できるようにするために

評価

評価について ... 指導者は、ねらいを設定して授業に臨むが、そのねらいをゴールとして児童の評価は行わない。

評価の見取り
児童の発言や記述 ※表情や反応も見取る ※授業後の聞き取りからも見取れる

児童 評価の視点
～学習過程や成果を 道徳科の目標に照らし、児童を認め、励ます視点で～
★目標に掲げる学習活動における児童の具体的な取り組み状況(学習状況・道徳性に関する成長の様子)を、学習活動全体を通して見取る。

一面の見方から多面的・多角的に見方へと発展させているかどうか。
・道徳的価値に関する問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしている。
・自分で立つ立場や感じ方、考え方を理解しようとしている。
・複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしている。

道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか。
・登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている。
・現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直している。
・道徳的な問題に対して自己の取り得る行動を他者と議論する中で、道徳的価値の理解を更に深めている。
・道徳的価値を実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている。

指導と評価の一体化
指導に生かされ、児童の成長につながる評価

目指す姿 道徳科の授業に対する評価の観点
～児童が多面的・多角的に捉えられる。自分事として捉えられるための、授業(指導)の改善に向けた観点で～
★下記の学習活動について、児童が多面的・多角的に考え、自分事として捉えるための指導の手立ては、ねらいに即したものにしたいかを、右の6つの評価の観点を基に具体的に振り返る。

道徳的価値について理解する
道徳的価値の意義及びその大切さを理解する。

自己を見つめる
道徳的価値を自分のこととして感じたり考えたりする。自分の経験やそのときの感じ方、考え方を照らし合わせて考えを深める。

物事を多面的・多角的に考える
多面的・多角的に考える学習を通して、価値理解と同時に人間理解や他者理解を深め、更に自分で考えを深める。

自分の生き方についての考えを深める
自分自身の問題として受け止める。伸ばしたい自己を深く見つめる。これからの生き方の課題を考え、それを自己の生き方として実現していこうとする思いや願いを深める。

道徳的価値の理解を基に自己を見つめ、自分の生き方について考えを深められる構成。ねらいに即した指導の手立て

児童が多面的・多角的に捉えられる。自分事として捉えられる指導の意図に基づいた発問

児童の反応を受け止め、指導に生かす

教材・教具の活用

児童の実態・発達段階に合った指導方法

配慮を要する児童への対応

① 情報収集

『指導に生かされ、児童の成長につながる』評価に関する資料や情報を集める。

② 資料作成

分かりやすさ、見えやすさ、使いやすさを優先して整理・作成をする。

③ 校内研修で周知

研修の場面で表を提示して、表記の視点や観点と結び付けて具体的に指導案等を検討する。授業後の協議で活用する。

④ それぞれの実践

各自が、授業づくりや授業の振り返りの場面で視点や観点を意識し実践に活かす。

⑤ 市町内へ周知

効果的であった取組は、各市町の道徳教育推進協議会等において、共有することで、市町における道徳教育の推進・充実を図る。



町内の道徳教育推進協議会等において、校内で研究したことを、スライド資料等を使って情報発信する。

授業研究<事後協議・講師の講話より>

6月11日 研究授業 事後協議

授業づくりについて

◎児童の実態を把握し、ねらいを絞り込む。



(1) 児童の実態を把握する。(①、②、③のどこなのか)
(2) ねらいの絞り込みをする。(児童の実態より、主発問はどこにするのか)

児童に問題意識をもたせる⇒切実感をどうもたせるか!

伝えたいことを整理・選択し、キーワードを使い表現。

ここがポイント

- 資料を収集・整理する過程で、改めて大切なことに気付く場合があります。その気付きを具体的に付け加えながら情報提供することが大切です。
- 情報提供した後も、機会を捉え、ポイントを絞って再共有したり、資料の活用状況を把握して具体的な助言をしたりしていくと、さらに活用することを促すことができます。

地域の方と連携して進める授業の実践事例

その1 家庭や地域社会の情報は生徒の力を借りて収集、そして、授業での活用へ

生徒作文の募集



生徒は地域の宝物を多く知っているはず。生徒の作文などから情報収集します。

教材と結び付けて

「大和の自然」・・・樹齢七千年の杉
「新しい道」・・・最後のパートナー
地域の宝発見

「学校給食開始日本二番目」

「産後子供神楽」

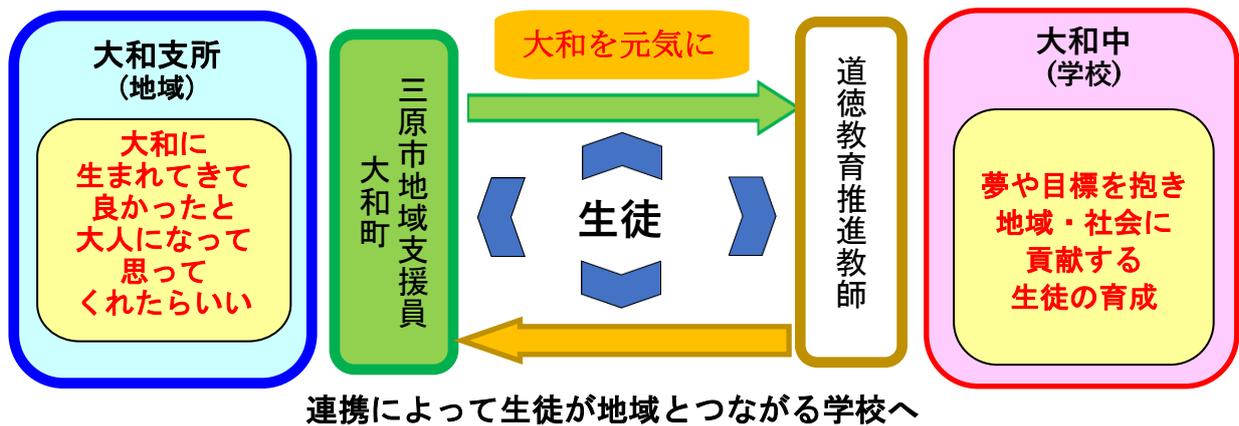
休校明けの授業で活用

生徒作文・GT（ゲストティーチャー）をマネジメントした授業



生徒作文を活用し、教材と結び付けたり、GTを招いて授業を行ったりします。

その2 地域支援員さんとの連携による学校外の人的物的資源の活用へ



各市町に配属されている地域支援員さんとの連携です。各自治区にも通じておられ、地域と学校の橋渡しをさせていただきます。この地域支援員さんが、地域のGT（ゲストティーチャー）など人的・物的な資源を紹介して下さることで、より充実した連携や協働した取組ができるようになります。「大和を元気に」という思いを共有しながら、地域と学校を結んだ活動を行いました。

その3 地域はいつでも協力的！開かれた学校を待っている！ 道徳教育推進教師はつなぎ役！アンテナ力とキャッチ力でマネジメントを！！



農業体験

キャラクターデザイン

商品開発

ラジオ宣伝に向けて

販売体験

地域振興部から感謝状

時や場、人、モノなど多様なつながりをマネジメントすることで、生活につながる道徳教育を進めていきました。地域を知り、地域から大切にされている自分に気付き、役に立ちたいという思いが生まれてきます。

年度初めに、道徳教育推進教師としての活動の時期や内容を計画しておきましょう。



<道徳教育推進教師の活動計画（例）>

月	〇〇市道徳教育推進協議会	道徳教育推進計画	道徳教育推進教師が行うこと
道徳教育の重点目標： 自分自身と向き合い、誠実に生きていく子供を育てる。 自他の生命を尊重し、大切にする子供を育てる。 集団の中で自分の責任を果たし、主体的に協力する子供を育てる。			
道徳教育の指標： ・人の気持ちがわかる人間になりたい。（肯定的回答 90%以上） ・人が困っているときは進んで助けている。（肯定的回答 90%以上） ・児童会や学校行事などにおいて学校の一員としての役割や責任をしっかりと果たしている。（肯定的回答 90%以上）			
4	第1回協議会 <6月18日> ○研究授業 ○道徳教育推進教師の役割について	・校内道徳教育推進委員会の確立 ・道徳教育推進体制の確立 ・全体計画・年間指導計画の確認 ・研究授業の計画、授業評価項目の協議 ・道徳用教材の確認 ・児童実態の共有 ・教材分析研修 ・道徳科についてのアンケート調査の実施 ・全体計画・年間指導計画の評価・改善の協議	・道徳推進委員会の活動計画提案 ・全体計画・年間指導計画の見直しの視点及び具体的な取組の提案 ・各教科等との関連について整理 ・授業評価シートの作成提案 ・アンケート調査作成提案 ・教材の管理 ・研修だよりの発行 ・道徳科における指導・助言 ・アンケート調査の集計・分析 ・アンケート調査、全体計画・年間指導計画の評価等に基づく取組の分析・改善策の提案
5			
6			
7			
8			
振り返り	○ほぼ計画通り提案し、実行することができた。		
9	第2回協議会 <8月25日> ○模擬授業 ○道徳科の授業づくりについて 第3回協議会 <11月7日> ○研究授業 ○講師講話	・アンケート調査 ・研究授業の実施 ・道徳参観日の実施 ・全体計画・年間指導計画の評価・改善の協議	・〇〇市道徳教育推進協議会での研修内容について情報伝達 ・事後研究をもとに授業改善策を提案 ・家庭や地域社会からの意見を分析・改善策の提案 ・全体計画・年間指導計画の評価等に基づく取組の分析・改善策の提案
10			
11			
12			
振り返り	○道徳参観日の効果的な実施のための提案を行うことによって、道徳参観日には、学校の道徳教育に関する方針や取組を発信するとともに、各学級で保護者等参加型道徳授業と意見交換を行い、家庭・地域との共通理解が図られた。		
1	第4回協議会 <1月28日> ○研究授業 ○今年度のまとめ	・研究授業の実施 ・道徳教育に関する取組実態の共有 ・アンケート調査 ・全体計画・年間指導計画の評価・改善の協議	・事後研究をもとに授業改善策を提案 ・道徳教育に関する調査（県）の回答作成 ・アンケート調査の集計・分析 ・アンケート調査結果、全体計画・年間指導計画の評価等に基づく取組の分析・改善策の提案
2			
3			
振り返り	○児童生徒の意識調査を実施・分析し、児童の実態に応じて取組の改善が図られた。 △道徳科における指導・助言について、計画的に十分に行うことができなかった。来年度は〇〇市道徳教育推進協議会での研修内容を踏まえ、研修計画に基づいて計画的に行いたい。		

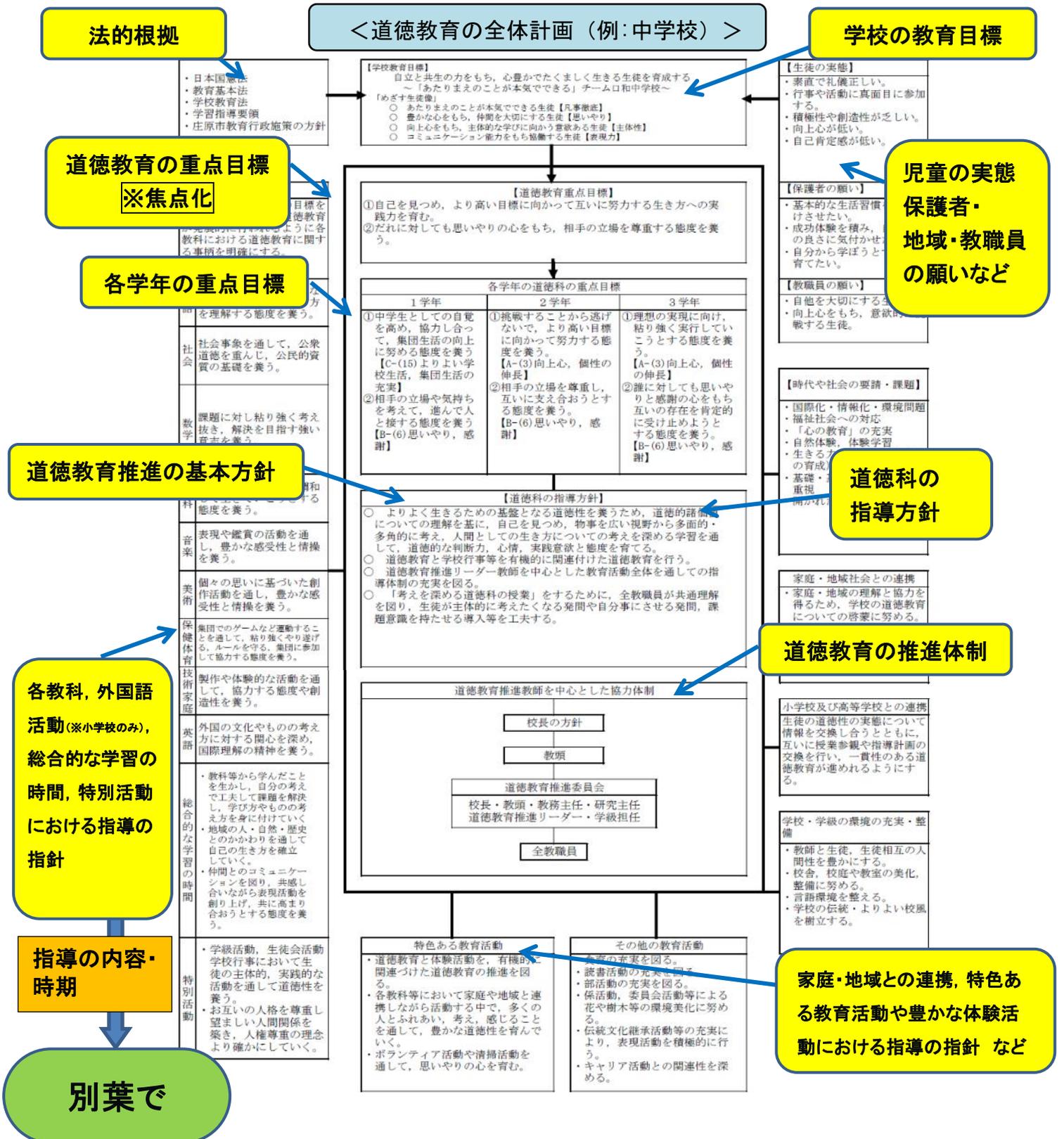
ここがポイント！

○ 道徳教育推進教師の活動計画を作成することで、活動内容や時期が明確になり、機能化が図られます。また、道徳教育推進教師が変わっても同様な活動が期待できます。

(3) 道徳教育の全体計画を作成しよう！

全体計画の作成に当たっては、理念だけに終わることなく、具体的な教育実践に生きて働くものになるよう、体制を整え、全教員で創意工夫して作成することが大切です。

また、各教科等における道徳教育に関わる指導の内容及び時期を整理したもの、道徳教育に関わる体験活動や実践活動の時期等が一覧できるもの、道徳教育の推進体制や家庭や地域社会等との連携のための活動等が分かるものを別葉にして加えるなどして、年間を通して具体的に活用しやすいものとする考えられます。



<道徳教育の全体計画 別葉（例）>



より実効性の高い全体計画とするためには、各教科等における道徳教育の指導内容や時期を示した別葉を作成して活用しましょう。

① 4つの視点と内容項目ごとに、各教科等における道徳教育に関わる内容及び時期を示した例（中学校第2学年）

各教科等ごとに

【道徳教育と各教科・領域等との関連（中学校第2学年）】

内容項目	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語
(1) 自主、自律、自由と責任									
(2) 節度、節制							健康と環境・障害の防止(4月～12月)	衣生活・住生活と自立(6月～3月)	
(3) 向上心、個性の伸長	アイスプラネット(4月)				自分の思いを歌声にのせよう(5月)	画家新聞(6月) ふるさとの木めぐり(11月) 遠近法(2月)	水泳(7月) 長距離走(9月) 跳箱運動(10月)		
(4) 希望と勇氣、克己と強い意志	見えないだけ(4月)						長距離走(9月)		Presentation 1 将来の夢
(5) 真理の探究、創造			三角形・四角形(12月)	科学偉人伝等(通年)		遠近法～理想の部屋～(2月)			
(6) 思いやり、感謝									Let's Read 2 The Carpenter's Gift.(7月)
(7) 礼儀							柔道(11月)		
(8) 友情、信頼	走れメロス(1月)					画家新聞(4月)	バレーボール(6月) サッカー(12月)		
(9) 相互理解、寛容									
(10) 遵法精神、公德心									
(11) 公正、公平、社会正義			確率(2月)						
(12) 社会参画、公共の精神									Units Universal Design(10月) Units Career Day
(13) 勤労									
(14) 家族愛、家庭生活の充実	益土産(7月) 字の心葉書(9月)							家族・家庭と子どもの成長(12月)	
(15) よりよい学校生活、集団生活の充実					仲間とともに表情豊かに合唱しよう(10月)	画家新聞(4月)			
(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	いにしへの心を尋ねる【古文・漢詩】(10月) 方言と共通語(2月)				日本の郷土芸能(1月) 歌舞伎について(2月)	ふるさとの木めぐり(11月)			Presentation 2 町紹介

重点目標

四つの視点と内容項目ごとに

2年生	国語	社会	数学
(1) 自主、自律、自由と責任		【日本の様々な地域】(7月) 【日本の諸地域】(9月～2月) 様々な課題について自由な考えをもち、責任ある発言ができる。	各教科及び特別活動、学校行事等ごとに縦列に整理
(2) 節度、節制			【単元名】(実施時期) どのように関連するのか具体的に記入
(3) 向上心、個性の伸長	【見えないだけ】(4月) 詩を朗読しながら自己との対話を深めつつ、自分自身のよさを伸ばしていくようにする。		

上記の様式で道徳教育全体計画（別葉）を作成する利点

- ① 内容項目ごとに各教科等での扱いが整理されているので、道徳科の指導の際に参考になる。
- ② 実施時期を参考にすることで、小単元の設定に役立つ。
- ③ 教育活動の中で扱う機会が多い項目とそうでない項目が視覚化されることにより、道徳科で特に重点を置いて指導すべき内容が明確になる。
- ④ 各教科等における道徳教育との関連を明確にすることにより、各教科等の年間指導計画の「道徳教育との関連」欄の内容を見直す機会となる。

指導する内容項目について、どの教科等で、いつ、どのような道徳教育を行うのかなどを意識した指導につながります。また、重点内容項目を強調することで、道徳教育の重点化が図られます。



② 道徳科と各教科等ごとに、道徳教育に関わる内容及び時期を示した例(小学校第5学年)

学校教育目標, 道徳教育の重点目標, 学年重点目標を踏まえた別葉

学校教育目標
すすんで きたえ みがき のびる
～社会の変化に対応できる心豊かでたくましい子供の育成～

道徳教育の重点目標
○友達よさを見つけ、自ら進んで一緒に働き・遊び・学ぶ子供を育てる。
◎夢をもち、自ら進んで正しく生きようとする子供を育てる。
○身の回りに目を向け、甲奴のよさを見つけ自ら進んで表現できる子供を育てる。

【高学年重点目標】

- 友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていく。【B(10)友情, 信頼】
- ◎誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努める。【C(13)公正, 公平, 社会正義】
- 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつ。【C(17)伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度】

★体験活動

月ごとに

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道徳の時間	いつも全力でA希望 オーストラリアで学んだことB礼儀 遠足の子どもたちA善悪	友の命B友情 流行おくれA節度 見えた答案A正直	天からの手紙A真理 きまりは何のためにC規則 たったひとつのたからものD生命 ふみ十年D自然	ちんもくのメッセージC伝統 母の退院C家族 消えたマイケルC公正	父の仕事(電車の運転士)C勤労 ベートーベンA希望 わたしのボランティア体験C勤労	心のレシーフB友情 微生物の力を借りて人々を救う～大村智D生きる 星野くんの二るい打C規則 世界最弱のヒーロー、アンパンマンC公正	親から子へ、そして孫へとC伝統 友愛の鐘C国際 イルカの海を守るろうD自然 ひさの星D感動	うばわれた自由 A善悪 すれちがい B相互	正月料理C伝統 愛の日記C公正 くずれおちたダンボール箱B親切	残った仕事C学校 知らない間の出来事B友情 黄熱病のとたたかいB感謝 感動したこと、それがほくの作品A個性	ありがとう上手にB感謝 パトンをつなげC学校
学校行事等	入学式B礼儀 始業式A希望 交通安全教室A節度 ★遠足B友情C規則	★運動会C公正B友情	新体力テストA希望 プール開きA希望	★ふれあい交流会C伝統 終業式A正直 ★宿泊体験活動B友情C学校 ★水泳記録会C公正	始業式A希望 社会見学C規則D生命	防犯教室D生命 ★学習発表会B友情		終業式A正直	始業式A希望	★百人一首大会A希望	卒業式B礼儀B感謝 修了式A希望
児童会活動	児童総会C勤労 1年生を迎える会B友情		平和について考えようD生命	遊び集会B友情	児童会役員選挙C公正C学校	児童総会C勤労		遊び集会B友情		児童会役員選挙C公正C学校	6年生を送る会B友情B感謝C学校
特別活動(学級活動)	学級開きA希望 班や係を決めようC学校 遠足に向けてB友情C規則	給食当番B友情 運動会の目標A希望C学校 手洗いの大切さA節度	水泳A希望C規則 委員会活動についてC学校 宿泊体験活動に向けてB友情C学校 むし歯予防A節度	夏休みの生活A節度C家族 1学期のまとめA正直 よりよいくらしC学校	2学期の目標A希望 班と係の編成C学校 どんな食べ方がいいのかなA節度	学校をきれいにC規則 大切な目A節度 運動と健康A希望	読書A真理 学習発表会をふり返ってB友情C学校 朝食と睡眠A節度 避難訓練A節度	2学期の反省A節度 冬休みの計画C家族 冬の健康な生活A節度	3学期の目標A正直 体力づくりA希望 風邪予防A節度	雪の日の過ごし方A節度 児童会活動もりあげようB友情 6年生を送る会に向けてB友情B感謝C学校	食生活を振り返ろうA節度 一年間のまとめA正直 もうすぐ6年生C学校
総合的な学習の時間(※キャリア教育)	※★米作りに挑戦しよう！C伝統			※★つながる三次！～ボランティアをしよう～B友情C勤労		※★お米のすばらしさを伝えようC伝統		※米から変身！甲奴のお酒造りC伝統			
その他の教科	(国)春の空C伝統 (社)世界の中の国土C伝統 ★(音)ゆたかな歌声をひびかせようB友情 (体)体づくり運動A希望	(国)古典の世界C伝統 発芽と成長D自然 (体)表現運動B友情	(国)夏の夜C伝統 (体)水泳A希望C規則	(国)千年の釘にいどむC伝統 (体)水泳A希望C規則 (体)ボール運動C公正 (家)やってみよう家庭の仕事C家族	(国)日常を十七音でC伝統 (社)水産業のさかんな地域C伝統 (音)和音の美しさを味わおうB友情 (図)くるくる回してB友情	(社)工業生産と工業地域C伝統 (音)曲想を味わおうB友情 (体)マツ運動A希望 (体)ボール運動C公正	(国)秋の夕暮れC伝統 (体)ボール運動B友情 (外)クイズ大会をしよう(What's this?)C国際 (理)川と災害D自然	(国)古典の世界C伝統 (音)詩と音楽を味わおうC伝統 ★(体)陸上運動A希望	(体)ボール運動B友情C公正 (図)色を重ねて夢を広げてA個性 (音)日本と世界の音楽に親しもうC伝統	★(国)一まいの写真からA個性A真理 (国)冬の朝C伝統(算)円をくわしく調べようB友情 (体)表現運動B友情 (体)体づくり運動A希望	(音)心をこめて表現しようB友情

道徳の時間及び各教科等ごとに

月毎に、道徳科と各教科等の単元や題材で、どのような道徳の内容を指導するのかが明確になります。



③ 内容項目ごとに、各教科等との関連を発達の段階を踏まえて示した例

内容項目ごとの教材名 (発達の段階ごと)			各教科等との関わり							
友情、信頼 【1年】31 二つのこりり 【2年】5 およげないりすまん	友情、信頼 【3年】30 きょうりやくクラス 32 飛べ、おれろ 【4年】14 ゲームのやぐやく 20 プラジカからの転入生	友情、信頼 【6年】5 陽子、ドンマイ！	友情、信頼 木江小太鼓の練習・運動会・全校遊び・きらきらタイム・学習発表会・模試授業での活動 学級活動・朝の会・帰りの会 国語「みんなことん」「大きなおclin」「国語「かみから」「イタミ」 国語「うれしなることばをまつよう」 国語「お手紙」	友情、信頼 修学旅行・宿泊体験活動 音楽「音楽で心の輪を広げよう」 国語「友達の意見を聞いて考えよう」	相互理解、寛容 【4年】1 貝から 17 学級新聞作り	相互理解、寛容 【5年】7 まかせてみようよ	相互理解、寛容 目的・理由の会・半級活動・朝・昼・放課後の活動・外国語活動・外国語・読書活動・学級発表会 外国語「おきなかぶ」「国語「言葉でつたえ合う」 外国語「世界の中の日本」 外国語「わたしたちの住んでいる国」	相互理解、寛容 目的・理由の会・半級活動・朝・昼・放課後の活動・外国語活動・外国語・読書活動・学級発表会 外国語「おきなかぶ」「国語「言葉でつたえ合う」 外国語「世界の中の日本」 外国語「わたしたちの住んでいる国」		
規則の尊重 【1年】3 あんなでまもうろ	規則の尊重 【3年】7 心の優先席 17 こまるのはだれ？ これ正しいかな？ 18 あんなでまもうろ？ かなめがれーれー 【4年】31 図書館で	規則の尊重 【5年】17 セルフマジャッ 【6年】11 「マナーからルールへ、そしてマナーへ」	規則の尊重 学活「かっこいいすまいるえいお」 国語「図書館はどこなところ」	規則の尊重 社会「防犯の見える」 理科「あんなでまもうろ」 学活「雨の日の過ごし方」等 体育「多様な動きをつくる」	規則の尊重 社会「情報を生かすわたしたち」 社会「わたしたちのくらしと日本国産」 国語「環境問題について報告しよう」	公正、公平、社会正義 【1年】13 ぶたのやぐやく 【2年】21 のこぎり山のぶつ	公正、公平、社会正義 【4年】12 貝木のはんだん	公正、公平、社会正義 【5年】15 「スイム」作戦 「ガンゾ」作戦 【6年】16 鹿川道のうわさ	公正、公平、社会正義 PTCドッチビー大会・朝の会・帰りの会・学級活動・体育科での活動 国語「スロー」	公正、公平、社会正義 家庭「共に生きる地域での生活」 国語「問題を解決するために話し合おう」
勤労、公共の精神 【1年】5 わたしにできること 【2年】28 まれいになつたころしつ	勤労、公共の精神 【4年】2 あんなのためにできること	勤労、公共の精神 【5年】28 働くせーちョーク工場の志田さんー 【6年】14 応付場防の清掃ボランティア	勤労、公共の精神 生活「ひろがれえがね」 国語「いろがね」	勤労、公共の精神 PTA委工作業・清掃活動・当番活動・長期休業中や日常の家庭での仕事 生活「ひろがれえがね」 国語「いろがね」	勤労、公共の精神 社会「働くの意義を学ぶ」 社会「働くの意義を学ぶ」 社会「働くの意義を学ぶ」					
家族愛、家庭生活の充実 【1年】30 ぎんのおしやく 【2年】15 わたしのおいさん、おばあさん	家族愛、家庭生活の充実 【4年】5 お母さんのせいきゅう書 30 ねくまをたのしむ日ーおんたー	家族愛、家庭生活の充実 【6年】9 かっこいいお父さん	家族愛、家庭生活の充実 国語「ザラダげんき」 生活「一年かんとふりかえろ」 生活「ひろがれえがね」	家族愛、家庭生活の充実 PTCドッチビー大会 国語「一つの花」	家族愛、家庭生活の充実 家庭「共に生きる地域での生活」 国語「問題を解決するために話し合おう」					
よりよい学校生活、集団生活の充実 【2年】1 学校大まき	よりよい学校生活、集団生活の充実 【4年】28 えがねの花大作戦	よりよい学校生活、集団生活の充実 【6年】1 一年生のお世話係ーアファナーユー	よりよい学校生活、集団生活の充実 1年生お迎え遠足・全校遊び・PTCドッチビー大会・卒業式・学級活動・縦割り班活動・きらきらタイム 国語「わたしたちの町」 学活「1年生を迎える会」 学活「6年生を送る会」 国語「問題を解決するために話し合おう」	よりよい学校生活、集団生活の充実 学活「1年生を迎える会」 学活「6年生を送る会」 国語「問題を解決するために話し合おう」	よりよい学校生活、集団生活の充実 学活「1年生を迎える会」 学活「6年生を送る会」 国語「問題を解決するために話し合おう」					
伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【1年】20 もみしがかり 【2年】27 かいりんぼん	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【3年】23 いちじょうのふをまもるために 【4年】9 わがいのまつり上げた石橋	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【5年】4 かつおめーかにあそぶものは 18 世界の文化遺産 【6年】13 お茶の心	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 木江小太鼓の練習・すみれ祭り参加・社会見学(厳島神社3～5年)・総合(3～6年) 国語「むかしばなしをたのしもう」 国語「言いつたえられているお話を知ろう」 生活科「どきどきわくわくまちたんけん」 生活科「もっとなかなよまちたんけん」 音楽「こほんのうたをたのしもう」	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 修学旅行・権伝馬体験学習 総合「未来へつなげよう！大崎上島の伝統文化」 総合「知らせよう！大崎上島の産業」 国語「和の文化を分けようー和菓子をさぐるー」 社会「今に伝わる室町文化」「町人の文化と新しい学習」 家庭「食べて元気に」	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 総合「未来へつなげよう！大崎上島の伝統文化」 総合「知らせよう！大崎上島の産業」 国語「和の文化を分けようー和菓子をさぐるー」 社会「今に伝わる室町文化」「町人の文化と新しい学習」 家庭「食べて元気に」					
国際理解、国際親善 【1年】27 エマさんのこえあわせ 【2年】23 ジョゼくとおりがみ	国際理解、国際親善 【4年】33 ぶらのかかり橋	国際理解、国際親善 【6年】23 フーパーさん	国際理解、国際親善 国語「おきなかぶ」 国語「外国の小学校について聞こう」	国際理解、国際親善 グローバルキャンパ 国語「言葉でつたえ合う」「外国のことを紹介しよう」 社会「わたしたちの国土」 社会「世界の中の日本」 社会「日本とつながりが深い国」	国際理解、国際親善 社会「わたしたちの国土」 社会「世界の中の日本」 社会「日本とつながりが深い国」					

1年生お迎え遠足・全校遊び・PTCドッチビー大会・卒業式・学級活動・縦割り班活動・きらきらタイム 国語「みんなにはなそう」「ほんとはおだち」 国語「小学校のことをしようかいしよう」「こえをたけよう」 生活「かっこいいすまいるえいお」「くぞそ！かっこたんけんたい」 生活「もうすぐ2年生」	国語「調べたことをほしくしよう！」 学活「6年生ありがとう」	学活「1年生を迎える会」 学活「6年生を送る会」 国語「問題を解決するために話し合おう」	よりよい学校生活、集団生活の充実
木江小太鼓の練習・すみれ祭り参加・社会見学(厳島神社3～5年)・総合(3～6年) 国語「むかしばなしをたのしもう」 国語「言いつたえられているお話を知ろう」 生活科「どきどきわくわくまちたんけん」 生活科「もっとなかなよまちたんけん」 音楽「こほんのうたをたのしもう」	国語「わたしたちの町みんなの町」 国語「はたらく人とわたしたちのくらし」 国語「ふるさとを食を伝えよう」「百人一首の世界」 音楽「いちぎに伝わる音楽でつながろう！」「～に親しもう」 社会「市のうつけかり」「地域の発展につくした人々」	修学旅行・権伝馬体験学習 総合「未来へつなげよう！大崎上島の伝統文化」 総合「知らせよう！大崎上島の産業」 国語「和の文化を分けようー和菓子をさぐるー」 社会「今に伝わる室町文化」「町人の文化と新しい学習」 家庭「食べて元気に」	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度
ALTとのふれあい・英語朝会・英語・外国語活動・外国語・読書活動 国語「おきなかぶ」 国語「外国の小学校について聞こう」	グローバルキャンパ 国語「言葉でつたえ合う」「外国のことを紹介しよう」 社会「わたしたちの住んでいる国」	社会「わたしたちの国土」 社会「世界の中の日本」 社会「日本とつながりが深い国」	国際理解、国際親善

学校や学年の道徳教育の重点目標を入れておくと、重点目標を意識して指導することができます。また、道徳科と各教科等との関連を意識した指導を行うことができます。



ここがポイント！

- 道徳教育の全体計画や別葉を作成する際は、道徳教育推進教師一人が作成するのではなく、全教員が作成にかかわるようにしましょう。

(4) 道徳科の年間指導計画を作成しよう！

年間指導計画は、道徳科の指導が、道徳教育の全体計画に基づき、児童生徒の発達の段階に即して計画的、発展的に行われるように組織された全学年にわたる年間の指導計画です。具体的には、道徳科において指導しようとする内容について、児童生徒の実態や多様な指導方法等を考慮して、学年段階に応じた主題を構成し、この主題を学年別に年間にわたって適切に位置付け、配列し、学習指導過程等を示しましょう。

<年間指導計画に明記しておくことが望まれる事柄>

- 各学年の基本方針
- 各学年の年間にわたる指導の概要
 - ア 指導の時期 イ 主題名 ウ ねらい エ 教材 オ 主題構成の理由
 - カ 学習指導過程と指導の方法 キ 他の教育活動等における道徳教育との関連
 - ク その他（校長や教頭などの参加及び教員の協力的な指導の計画、保護者や地域の人々の参加・協力の計画、複数の時間で取り上げる内容項目の場合の全体構想等）

<道徳科の年間指導計画（例）>

小学校第5学年 年間指導計画

学年の基本方針	1 身近な集団の中で自分の役割と責任を主体的に果たせるようになる。 2 教材の中の特定場面や状況を自分との関わりで考え、自分の生き方についての自覚を深めさせる。					
イ 主題名	回	1	月	4	週	2
	主題名	節度ある生活		内容項目	節度、節制A（3）	
	教材名	流行おくれ	出典	文部省 読み物資料 「主として自分自身に関すること」		
エ 教材名（出典）	主題構成の理由	生活を振り返り、自ら節度を守り、節制に心掛けることについて、主人公を通して考える。				
	ねらい	生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り、節制に心掛けようとする態度を育てる。				
カ 学習指導過程	学習指導過程	1 児童の流行に関する話について話し合う。 2 教材「流行おくれ」を読んで話し合う。 (1) みどりと社会科見学の服装についての話をした真由美は、どんな気もちだったか。 (2) 母にたしなめられた真由美は、どんなことを考えたか。 (3) わたるに「ゲームの本を返して」と言われた真由美は、どんな気もちだったか。 (4) シーンとして自分の部屋を見直す真由美は、どんなことを思っていたか。 3 節度節制について、心掛けている事柄や実行している事柄の話合いを通して、自分の生活を考える。 4 生活習慣について、教師が日ごろ努力していることの話を聞く。				
ウ ねらい	他の教育活動との関連	学習規律の指導（常時）、学級活動（2）基本的な生活習慣の形成				
キ 他の教育活動との関連	振り返り					
	備考					

ここがポイント！

- 振り返りや備考欄を設け、授業実施後に気づきを記入しておくこと、次年度に向けて、さらに加筆・修正することができ、授業改善につながります。

(5) 各教科等との関連を図った実践例

「総合単元的な道徳学習プログラム」の例

「礼儀」向上プログラム

～礼儀正しい大人になるために～

単元の目標 B 礼儀

義務教育の修了を見据え、社会に出て活躍できる人材の育成を目指し、社会人の基盤となる礼儀の意義についての認識を深めさせ、時と場合に応じて適切な行動ができる自律した態度を育てる。

7月～8月に開催される各高等学校のオープンスクールへの参加に向けて、礼儀について学習してきたことを振り返り、中学3年生としてふさわしい言動をとらうとする実践意欲を育てる。

学活「オープンスクールに向けて」
(7月)

社会「私たちの生活と文化」
(7月)

道徳「言葉おしみ」
(6月)

作者が経験した、投げかける言葉と受け止める言葉のやりとりの場面を通して、社会生活の中で礼儀の意義や役割を理解し、時と場に応じた適切な言動をとらうとする態度を育てる。

世界にはさまざまな礼儀やマナーの形があることや、さまざまな人々と接する場合に必要な言動を理解する。

学活「ピア・サポート」(6月)

「質問じゃんけんて自己紹介&ホメホメワーク」を通して、相手の人格を認め、相手に対する尊敬や感謝の気持ちを具体的に示すことの必要性を実感させる。

目指す生徒の姿

- ・大きな声で返事、あいさつができる生徒
- ・相手意識の立場でものごとを考え、時と場に応じた適切な言動ができる生徒
- ・他国の礼儀について理解を深め、グローバルに活躍できるコミュニケーション能力を身につけた生徒

生徒の自己評価シート

「礼儀」向上プログラム
～礼儀正しい大人になるために～

今の自分
自分からあいさつをできていない時がある

学習日: 8/28 (金)
高校の先生にも見られているから、身だしなみや、あいさつ、聞く態度を気をつけたいです。自分の行く高校で決めたいです。先生を尊敬したいと思います。

学活「オープンスクールに向けて」

社会「私たちの生活と文化」

学習日: 8/26 (木)
日本では全く想像できないような、いろいろな文化が他の国にはありました。だけど、その違いをうまく理解して、認め合えたら、みんな仲良くできると思いました。

道徳「言葉おしみ」

学習日: 6/22 (月)
自分が感謝の気持ちを持てない。言葉に注意を払って、短い言葉でも、場を察するようになりたい。人をもてなす。喜ぶ。笑顔で話せる。自分から話せる。

学活「ピア・サポート」

学習日: 6/14 (木)
友達に知らない所をたくさん知りました。質問されても、答えられない事があったので、自分のことをもっと知ろうと思いました。自分のことを話すのは、緊張したけど、みんなで交流できて楽しかったです。

これからの自分
総合での学習や、オープンスクール、家族や先生と話したこと、自分のこれから進路が少しづつ想像できてきました。自分の行きたい高校に行けるように、周りの人を気遣って話せるようになる。態度で行動をがんばりたいです。

保護者より
このを見て「すごい」聞いた事もなく、理解して考えているなと思いました。もと自分、自信を持って自分から話せるようになったらいいな。自分の最近、経験を話す事、自分の事で話せるようになって、良い所は伊はして、言葉は少くも、話せるようになってほしいです。

①プログラムの実施前に、テーマに係る自分の現状を振り返る。

②各学習の終了後に振り返りを記入する。

③自分の学びを振り返り、この学習を今後どう生かしていくかを記入する。

④保護者から評価をもらい、自らの学びと変容を自覚する。

【作成と活用のポイント】

- 作成に当たっては、自校の道徳教育全体計画（別葉）を参照し、各教科の学習内容と内容項目との関係を明確にしましょう。また、必要に応じて別葉を見直しましょう。
- できるだけ短い期間で学習内容を絞って計画・実行すると、児童生徒が学びのつながりを実感しやすくなります。
- プログラムと同様の形式の自己評価シートを作成し活用することで、児童生徒に学習内容のつながりを意識させるとともに、自らの学びを振り返る場面を設けることができます。

防災教育と関連を図った実践例（年間指導計画をもとに道徳学習プログラムを作成の例）

年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道徳科	・あなたの時間にいのちをふきこめば(1)	・小さな草たちははく手を(1)⑧	・ちこく(1)	・ええことずるのは、ええもんや!(1)	・家族の一員として(1)	・遺足の朝(1)	・交かんメール(1)	・聞かせて、君の声を!(1)	・朝がくると(1)	・浮世絵ー海をわたったジャパン	・にぎりしめたいね(1)
目覚まし時計(1)	・さち子のえがお(1)	・いのりの手(1)	・ぼくの草取り体験(1)	・ほんとうに上手な乗り方とは(1)	・雨とこの様(1)	・ヒキガエルとロバ(1)⑩	・心と心のあく手(1)	・金色の魚(1)	・三つのつみ(1)	・かわいいそうなぞう(1)⑩	
35	・あいさつができた(1)	・海をこえて(1)	・雨のバスでいりゆう所(1)②	・ネコの手ボランテア(1)⑬	・花さき山(1)	・大根祭り(1)	・お父さんのじまん(1)⑬	・お父さんのじまん(1)⑬	・「まっ、いいかな」(1)	・よむむし太郎(1)	



4年生 ⑬ 防災を含む安全に関する教育(1)

目指すべき児童像(2)
命を守り、安全で安心な社会づくりのために、『地域の支援者となることのできる子ども』を育成する

道徳科(3)

あなたの時間に命をふきこめば D-(18) (生命の尊さ)	目覚まし時計 A-(3) (節度・節制)	ねこの手ボランテア C-(13) (勤労、公共の精神) (本時)	本当に上手な乗り方は A-(3) (節度・節制)	お父さんのじまん C-(16) (伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度)	金色の魚 A-(3) (節度、節制)
----------------------------------	-------------------------	--	-----------------------------	--	-----------------------

【いのちは「時間】 【節度ある生活】 【ほうしの気持ち】 【安全に気をつけて】 【国や郷土を愛する】 【よくばりな心】

社会科 ・自然災害から命を守る ・よみがえらせよう、われらの広村（濱口梧陵）(4)

理科 ・水のすがた ・水のゆくえ（水の特徴・危険性）

特別活動 ・健康診断の意義 ・交通安全のみぎり ・プール開きに向けて ・体力づくり

学校行事 ・避難訓練 ・防災教室

道徳学習プログラム

事例として示している道徳学習プログラムは、小学校学習指導要領における「⑬防災を含む安全に関する教育」の内容を踏まえて作成しています。「安全・安心な教育環境の構築」の一助として、4年生では「稲むらの火」で知られる「濱口梧陵」をキーパーソンとして、道徳科「お父さんのじまん」、社会科「よみがえらせよう、われらの広村」「自然災害から命を守る」等、各教科等の内容と関連させ、命を守り、「安全で安心な社会づくりのために、『地域の支援者となることのできる子ども』」を目指していきます。

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編 付録6

「⑬ 防災を含む安全に関する教育」（現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容）

「学習指導要領解説 総則編 付録6 ①～⑬」に示された内容を、年度当初に教育課程に導入することを検討することによって、学習指導要領で求められている「現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容」を年間指導計画に反映することができます。そのことにより、児童は、小学校での6年間を通して「現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容」について学ぶことができるようになります。年間指導計画は、単元の終了後、児童の学びや姿を基に、随時、改善していくことが大切です。